

評価結果情報



受審事業所基本情報

事業所名称	望之門保育園・マナ乳児保育園
運営法人名称	社会福祉法人 阿望仔
福祉サービスの種別	保育所(認可保育園)
代表者名	園長 金 恵栄
定員(利用人数)	120人(143人)
事業所所在地	〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋5-13-17
電話番号	06-6651-7741
FAX番号	06-6652-8841
ホームページアドレス	http://www.aboshi.or.jp/
電子メールアドレス	nozominomon@aboshi.or.jp

評価機関情報

第三者評価機関名	社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
大阪府認証番号	第270041号
評価実施期間	平成20年7月10日～平成22年3月1日
評価決定年月日	平成22年3月1日
評価調査者氏名(役割)	0601C082(運営管理委員) 0501C032(専門職委員) 0801C012(専門職委員)

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

総合コメント	<p>天王寺ターミナルに近い、落ち着いた住宅地域に位置し、本年、創立60周年の歴史ある、地域に根ざした保育園です。</p> <p>多様化し、増加する地域の福祉ニーズに対応して、保育ママ事業・産休明け保育・夜間保育(23:30まで)・病気明け保育・一時保育・あかちゃん広場などの子育て支援、法人としては、学童保育・高齢者の在宅支援などの事業を意欲的に展開しています。</p> <p>屋上には大きなプールがあり、また、園庭には、冒険心を起こさせる大型固定遊具や砂場、ログハウスが設置され、木々や菜園もあり、子どもたちは活発にのびのびと活動しています。</p> <p>保育の目標として、「ちがいのある子どもたちが共に育つ」、「一人ひとりの子どもを大切に」などを掲げ、たてわり保育をするなど保育内容の充実に努めています。</p> <p>保護者の事情に合わせ、臨機応変な時間延長などの対応を行い、積極的にサポートしており、保護者の信頼も厚く、好評を得ています。</p>
特に評価の高い点	<p>園の基本方針にのっとった保育が、全職員のチームワークにより実施されています。登園時間の柔軟な対応など、子どもたちの個々の事情に応じた配慮もなされています。</p> <p>乳幼児共にたてわりによるクラス編成とその中でのグループ担当制が実施されており、子どもたちに尊敬、思いやりなど成長が見られ、安定した生活・あそびができています。各保育室内には、子どもの自主性・自発性やあそびの継続性を大切にしたいあそびのコーナーが設けられ、子どもたちは穏やかに過ごしています。</p> <p>また、事故・急病・感染症などの発生時の緊急対応や防止策、不審者の侵入防止策などを具体的に定めた危機管理マニュアルを整備し、安全点検、発生要因の分析及び職員への周知徹底など組織的に取り組んでおり、安全の確保が図られています。さらに、職員一人ひとりの教育・研修の充実、人事考課の作成など、人材育成に努めています。</p>
改善を求められる点	<p>各種ニーズに対応した幅広い事業の実施や次年度の事業計画の策定はなされていますが、組織の理念・基本方針の実現に向けた今後の具体的な中・長期計画を策定することが求められます。また、必要な人材や人員体制の確立に関するプランの策定が望まれます。</p>

第三者評価に対する事業者のコメント

事業者のコメント	<p>望之門保育園 創立60年という記念すべき年に、その長い歴史を振り返り、「時代が変わっても変えてはいけないもの、時代の変化と共に変えていかなければならないものを客観的な視点から明らかにしよう」というのがきっかけでした。</p> <p>また、普段なかなか聞けない保護者の方々の本音を「アンケート」を通して知ることが大切なことでした。</p> <p>受審を通して様々な課題に気づくことができたので、今後職員と意識を共有しながら取り組んでいきたいと思えます。</p>
----------	--

評価細目 福祉サービスの 基本方針と組織について



事業所名称

望之門保育園・マナ乳児保育園

理念・基本方針について

判断基準項目	評価結果
理念が明文化されている。	a
理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
理念や基本方針が職員に周知されている。	a
理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
<p>法人の基本理念及び保育理念が定められ、職員会議等を通じて職員への周知、理解がよく深められています。保護者には、わかりやすく説明した入園のしおり、パンフレットを配付して、理解を得ています。また、地域住民にもパンフレットやホームページ等を通じて周知に努めています。</p>	

計画の策定について

判断基準項目	評価結果
中・長期計画が策定されている。	c
中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	c
計画の策定が組織的に行われている。	c
計画が職員や利用者等に周知されている。	b
評価機関コメント	
<p>各年度の事業計画は職員に配付し、周知を図っています。 今後は、職員等の参画のうえ、さらなる保育サービスの充実や課題の解決に向け、中・長期計画を策定することが求められます。また、事業計画は、中・長期計画の内容を反映させ、保護者等にもわかりやすく周知することが望まれます。</p>	

管理者の責任とリーダーシップについて

判断基準項目	評価結果
管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a
質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a
経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	b
評価機関コメント	

園長は、管理者としての役割と責任を示した職務内容を文書化し、職員に配付して表明しています。
また、法令等の理解に努め、その遵守や質の向上に高い意識を持ち、各種の職員会議を適切に開催するなどの取り組みに指導力を発揮しています。
経営や業務の効率化については法人全体の中で取り組んでいますが、園長のリーダーシップのもと、職員全体での効率的な事業運営をめざし、さらに努力することが望まれます。

評価細目 組織の運営管理について



事業所名称

望之門保育園・マナ乳児保育園

経営状況の把握について

判断基準項目	評価結果
事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
外部監査が実施されている。	a
評価機関コメント	
<p>経営コンサルタントの指導、助言を活用し、経営改善に取り組んでいます。</p> <p>経営環境の変化等への対応は、法人事業全体の中で取り組み、園長もその会議等に意欲的に参画し、経営状況を具体的に把握するとともに、財務、労務など部門別に分けた課題の改善に向けた取り組みを行っています。今後は、保育に対する需要の動向など、把握した情報を中・長期計画や各年度の事業計画に具体的に反映させ、取り組みを進めることが望まれます。</p>	

人材の確保・養成について

判断基準項目	評価結果
必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	c
人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
個別の職員に対して、組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	a
実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている。	a
評価機関コメント	
<p>人事考課については、考課基準を新たに設定し、職員に明示したうえで実施しており、客観性、透明性も確保されています。園長は、職員の就業状況や意向の把握に努め、職員の教育・研修については、個人別の教育・研修計画を策定して実施し、研修結果の評価や報告会を行うなど、成果をあげるための取り組みを行っています。</p> <p>実習生の受け入れは、業務マニュアルを作成し、手順に従い実施しており、実習効果をあげるためのプログラムの作成、実践にも努めています。</p> <p>今後は、必要な人材、人員体制についての基本的な考え方や必要な人数等に関する具体的なプランを確立することが望まれます。</p>	

安全管理について

判断基準項目	評価結果
緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a
評価機関コメント	
<p>子どもの安全確保のために事故・災害・衛生・感染症などの危機管理マニュアルを作成し、管理体制を整備するとともに、リーダーとなる担当者を設置し、定期的に検討会等を開催して取り組みを行っています。</p> <p>また、子どもの安全を脅かす事例を収集し、発生状況・発生原因などを報告書にまとめ、要因分析や対応策の検討に効果的に活用されています。</p>	

地域との交流と連携について

判断基準項目	評価結果
利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
事業所が有する機能を地域に還元している。	a
ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a
必要な社会資源を明確にしている。	a
関係機関等との連携が適切に行われている。	a
地域の福祉ニーズを把握している。	a
地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a
評価機関コメント	
<p>パンフレットの配布、ホームページの公開などにより広く情報の提供を行い、地域の福祉ニーズに応じて、保育ママ、夜間保育、病気あけ保育、一時保育、赤ちゃん広場などの子育て支援を実施し、保育園が持つ機能を地域に提供しており、利用者も多く、よく取り組みがなされています。</p> <p>園児の積極的な地域の行事への参加、子育て支援事業の情報提供など、地域との交流を広げるための努力をしており、必要な地域の社会資源については職員間で共有しています。ボランティアの受け入れについては、業務マニュアルを整備し、職員にも周知徹底を図っています。</p>	

評価細目

適切な福祉サービスの実施について



事業所名称

望之門保育園・マナ乳児保育園

利用者本位の福祉サービスについて

判断基準項目	評価結果
利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備している。	a
利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a
利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a
利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。	a
利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a
評価機関コメント	
一人ひとりの子どもを尊重した保育目標に沿って保育課程・指導計画が作成されており、定期的な職員会議等を通じて理解を深め、評価・反省にも努めています。個人情報保護マニュアルも整備し、職員への周知が図られています。意見・要望や苦情については、担当者を設置し、適切な対応に努めており、相談窓口等については、入園のしおりへの掲載や掲示板への掲示、保護者懇談会等での説明により、周知を図っています。	

サービスの質の確保について

判断基準項目	評価結果
サービス内容について、定期的に評価を行う体制を整備している。	b
評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
個々のサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている。	a
標準的な実施方法について、見直しをする仕組みが確立している。	a
利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
利用者の状況等に関する情報を職員間で共有している。	a
評価機関コメント	
個々の保育場面の標準的な実施方法については、年齢区分に配慮した業務マニュアルを作成して実施しています。内容も具体的になっており、見直しも行っていきます。子ども一人ひとりの個人記録はよく整備され、指導計画に基づき、職員が共通の認識を持って保育にあたっています。子どもの記録の管理については、個人情報保護マニュアルで定められていますが、記録の保存、廃棄等を含めた規程により整備することが望まれます。また、保育の質の向上に向けたサービス内容の定期的評価等の取り組みを実施していますが、今後は、職員も参	

加のうえで、保育園としての自己評価を行うとともに課題を計画的に改善、実施することが望まれます。

サービスの開始・継続について

判断基準項目	評価結果
利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。	a
事業所の変更や家族への移行などにあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
評価機関コメント	
ホームページの公開、パンフレットの公共施設等への設置、配布など、広く一般に情報提供しており、見学、体験利用の希望にも随時対応しています。入園時には、保育サービスや料金等をわかりやすく記載した資料を保護者に配付、説明して理解を得ています。 また、転園した際の引継ぎや保育終了後の相談ができるように、相談窓口等を入園のしおりに掲載して周知をしています。	

サービス実施計画の策定について

判断基準項目	評価結果
定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
サービス実施計画を適切に策定している。	a
定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a
評価機関コメント	
子ども一人ひとりの身体・生活状況や課題が、よく把握されており、定められた手順に従い、個別の状況を反映した指導計画が、定期的に適切に策定されています。また、指導計画の評価、見直しも定期的におこなわれています。	

評価細目 サービス内容基準(付加基準)について



事業所名称

望之門保育園・マナ乳児保育園

子どもの発達援助について

判断基準項目	評価結果
保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	b
感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	a
子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	a
さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
障がい児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

保育所保育指針や園の基本方針に基づき、保育過程や乳児・幼児の個別指導計画等が作成され、評価、反省も職員間で共有されています。子ども一人ひとりへの理解や受容、発達をふまえた保育がなされ、子どもたちは落ち着いた生活ができています。食育にも力を入れており、季節に応じた食材の利用や喫食状況の記録・給食・間食のサンプル表示等きめ細かい取り組みがあり、子どもの健康面での配慮がみられます。また、子どもたちが自由に取り出せるよう、様々な遊具が設けられ、各コーナーで落ち着いて遊べるよう配慮されています。今後は、歯みがき指導を取り入れるなど歯科健診を活かす取り組みが望まれます。

子育て支援について

判断基準項目	評価結果
一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報は速やかに所長まで届く体制になっている。	a
虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

評価機関コメント

家庭との日常的な情報交換は、送迎時の対話や連絡帳、当日の諸活動の掲示等で行われており、定期的な個人懇談や必要に応じた面談の実施により、相互の共通理解にも努めています。虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応については、虐待防止・対応マニュアルが策定され、職員にも十分周知されており、こども相談センター（児童相談所）等との連携体制もよく整備されています。一時保育については、個々の状況に合わせた対応もあり、通常保育との交流など工夫されています。

安全・事故防止について

判断基準項目	評価結果
調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a
事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

衛生管理、事故防止の対応マニュアルが整備されるとともに、危機管理委員会の定期的な開催やチェックリストの活用による安全点検、事例の分析、子どもたちへの安全教育など事故防止に取り組んでいます。不審者への対応については、オートロック、警備保障会社との契約、警察との直通電話の設置や実地訓練研修の実施等、安全・事故防止に努めています。

子どもの発達・生活援助について

判断基準項目	評価結果
体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
評価機関コメント	
<p>子どもへの身体的・精神的暴力や言葉の暴力など不適切な対応が行われないよう、研修や話し合いがなされ、園長が日常的に保育現場を巡回するとともに、職員間でもクラスを超えて連携しながら防止・早期発見に努めており、就業規則にも体罰禁止や罰則規定を明記しています。</p>	

利用者調査結果



事業所名称

望之門保育園・マナ乳児保育園

利用者(保護者)への調査結果

判断基準項目	
調査対象者	望之門保育園・マナ乳児保育園 利用園保護者
調査対象者数	134世帯
調査方法	アンケート調査
利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)	
<p>望之門保育園・マナ乳児保育園を現在利用している園児の保護者134世帯を対象にアンケートによる調査を行いました。保育園から調査用紙を保護者に配布し、回収は無記名で封筒を封印し、保護者から直接評価機関へ郵送する方法で実施しました。75世帯から回答があり、回収率は59.0%でした。</p> <p>「入園した際に、保育の内容や方法について説明がありましたか」「保育園の理念や方針について、保育園から説明がありましたか」「『保育園だより』や『クラスだより』などを通じて、わかりやすく伝えられましたか」「献立表などで、毎日の給食の内容がわかるようになっていきますか」の4項目については、全員肯定的な回答でした。</p> <p>「保育園や家庭での子ども様子について情報交換がなされていますか」「保育園内で感染症が発生した際には、その状況について連絡がありましたか」「相談内容について、個人情報の保護が図られていましたか」「相談内容について、個人情報の保護が図られていますか」「入所希望時の見学について、あなたの都合などを受け入れてくれましたか」などの6項目については90%以上、その他2項目もほぼ90%が肯定的な回答で、わずかに「保護者からの苦情や意見に対して、「懇談会」や「保育園だより」などを通じて説明がありましたか」の1項目だけが80%台の回答でした。</p> <p>また、保護者の感じる保育園の特徴として、「たてわり保育が良い。遊び中心の保育でのびのび学べる。個性や自主性を大切にしている。自由で明るく温かみのある雰囲気。保育時間の融通がきく。障がい者や外国籍の子どもたちとの共生。担任以外の先生も名前を覚え、声かけてくれる。グループ担当制で目が行き届いている。育児の不安に対して相談にのってくれる。」は、特に多くの回答があり、「病気あけ保育、学童保育があり助かっている。おもちゃがよく考えて選ばれている。イベント、行事にとっても力が入っている。先生がしっかりしていて安心感がある。先生間の話し合いが密である。地域への社会貢献が多く行われている。」などの意見が目立ち、満足度は高い結果でした。</p> <p>その他、個別の意見としては、「健康診断の結果を早くしてほしい。保育参観日を作ってほしい。」など日々の子どもの様子などをもっと知りたいとする意見も少数ありましたが、全般的に「保護者との信頼が厚い」とする趣旨の意見が多くありました。</p>	